

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年2月20日

事業所名 緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり 保護者等数(児童数)23名 回収数14名 割合 61 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3	0	0	活動に合わせて限られた空間を工夫して活用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2	0	0	保育士・介護福祉士・社会福祉士等基準人数以上を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	1	0	0	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1	0	0	保護者のニーズや本人の課題に着目し計画作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	1	0	0	平日は曜日によって活動内容が固定しているが、年間行事を企画実施したり、長期休みに楽しめる行事を企画しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	6	1	1	公園や図書館利用時交流がある程度。地域の行事にも積極的に参加しているが、児童クラブや児童館との交流はないため今後計画していきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1	0	0	契約時にパンフレット使用し説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	13	1	0	0	利用頻度が少ない児童の保護者より共通理解がむずかしいとの意見が聞かれていたので面談の時間を積極的に設けて行きます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	2	0	0	送迎時に少し話をする程度で正式に面談という形をとっていませんので今後検討・実施していきたいと思います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	2	0	0	親子行事や保護者会を実施していますが、参加できていない保護者もいますので開催日など工夫していきます。父母の会はありません。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2	0	0	苦情については速やかに対応していますが周知・説明ができていないので今後検討します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2	0	0	連絡帳を活用されている保護者が多いので今後も継続していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	0	2ヶ月に1回広報作成し配布しています。また毎月の利用希望表にて行事をお知らせしています。今年度より自己評価の公表を実施していきます。
	14 個人情報に十分注意しているか	13	1	0	0	契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印いただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	2	0	0	各種マニュアルはあるが保護者への周知が不足しているので周知していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	0	0	0	火災・地震を想定し定期的を実施しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	0	0	0	とても楽しみにしているという意見が多かったのですが、少人数のときが楽しいとの意見もあり、環境設定等で工夫して対応していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	14	0	0	0	支援方法について日々研鑽しより良い支援を目指していけるよう努力していきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されています。